

安八町 洪水

ハザードマップ (No2)

このマップは前回の揖斐川、長良川の洪水情報とは別に根尾川、犀川、宝江川流域に大雨が降った時に町内で予想される浸水範囲と浸水の深さ、及び家屋倒壊等氾濫想定区域を地図上に表したものです。

このハザードマップを利用して、普段から災害に対する危機意識をもっていただき、災害が発生したときに命を守る一助となれば幸いです。

この「洪水ハザードマップ(No2)」は平成30年3月作成(令和3年6月一部改訂)「洪水ハザードマップ」と合わせてご利用ください。

洪水ハザードマップ表示内容

管理	河川名	計画規模 (L1)	最大規模 (L2)	浸水継続時間	家屋倒壊等氾濫想定区域
国	揖斐川	No1*	No1*	No1*	No2
	長良川	No1*	No1*	No1*	No2
	根尾川		No2	No2	
県	犀川	No2	No2	No2	
	宝江川	No2	No2		

※安八町 洪水ハザードマップ 改訂版 平成30年3月作成(令和3年6月一部改訂)

安八町役場

お問い合わせ先 〒503-0198 岐阜県安八郡安八町永取161番地
TEL.0584-64-3111 FAX.0584-64-5014

令和4年3月作成

犀川

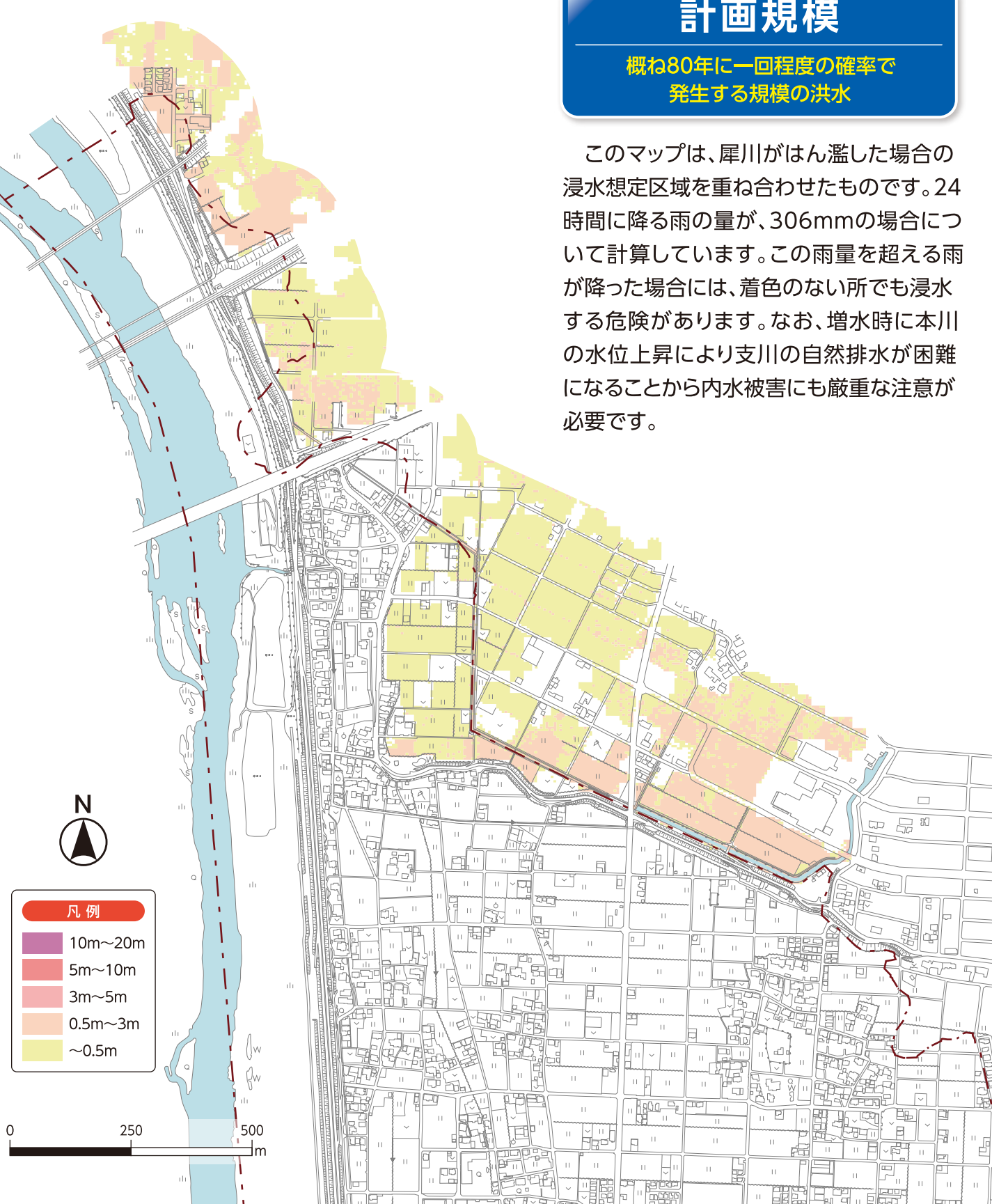
洪水浸水

想定区域図

計画規模

概ね80年に一回程度の確率で発生する規模の洪水

このマップは、犀川がはん濫した場合の浸水想定区域を重ね合わせたものです。24時間に降る雨の量が、306mmの場合について計算しています。この雨量を超える雨が降った場合には、着色のない所で浸水する危険があります。なお、増水時に本川の水位上昇により支川の自然排水が困難になることから内水被害にも厳重な注意が必要です。



犀川

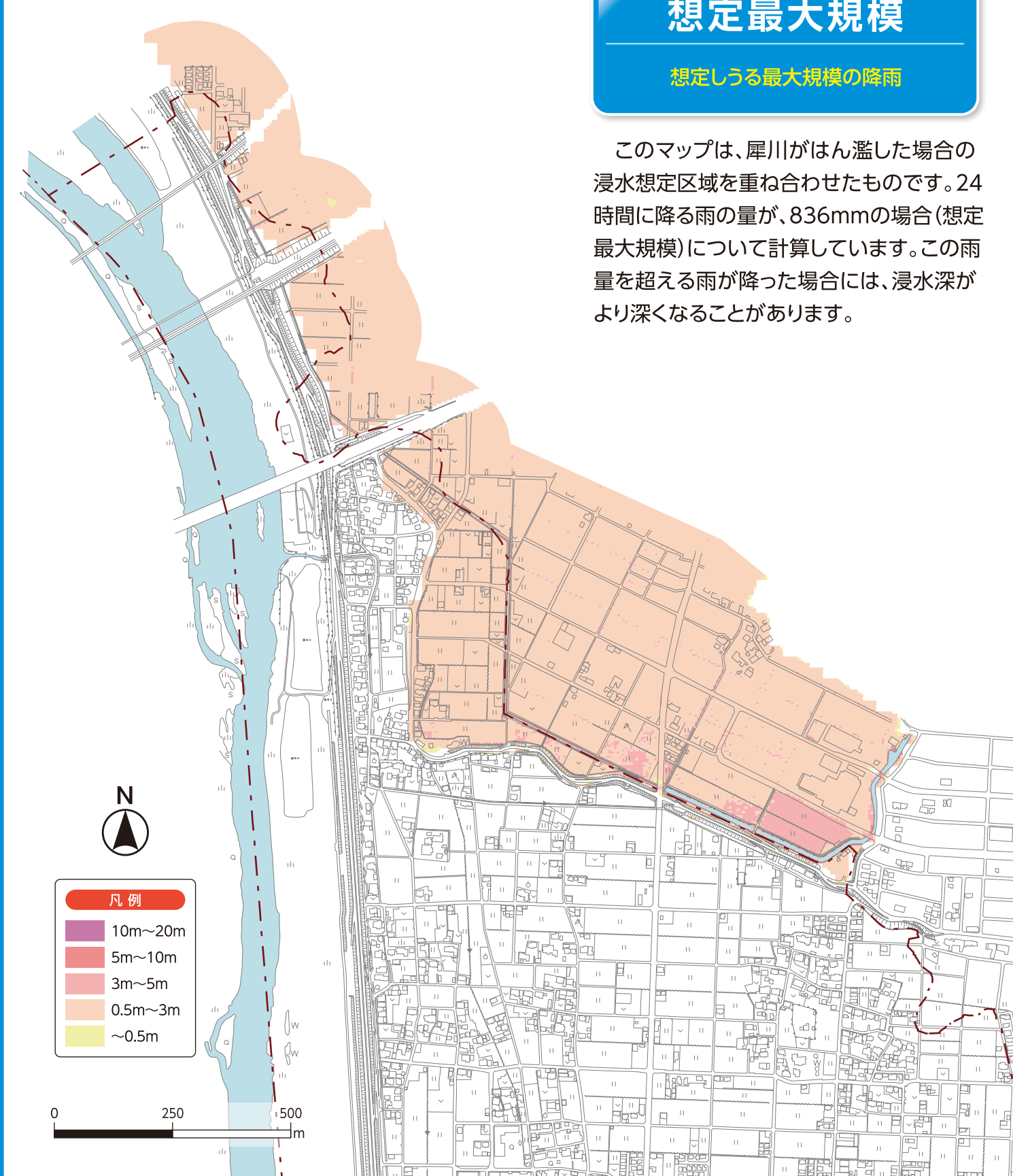
洪水浸水

想定区域図

想定最大規模

想定しうる最大規模の降雨

このマップは、犀川がはん濫した場合の浸水想定区域を重ね合わせたものです。24時間に降る雨の量が、836mmの場合(想定最大規模)について計算しています。この雨量を超える雨が降った場合には、浸水深がより深くなる可能性があります。



犀川

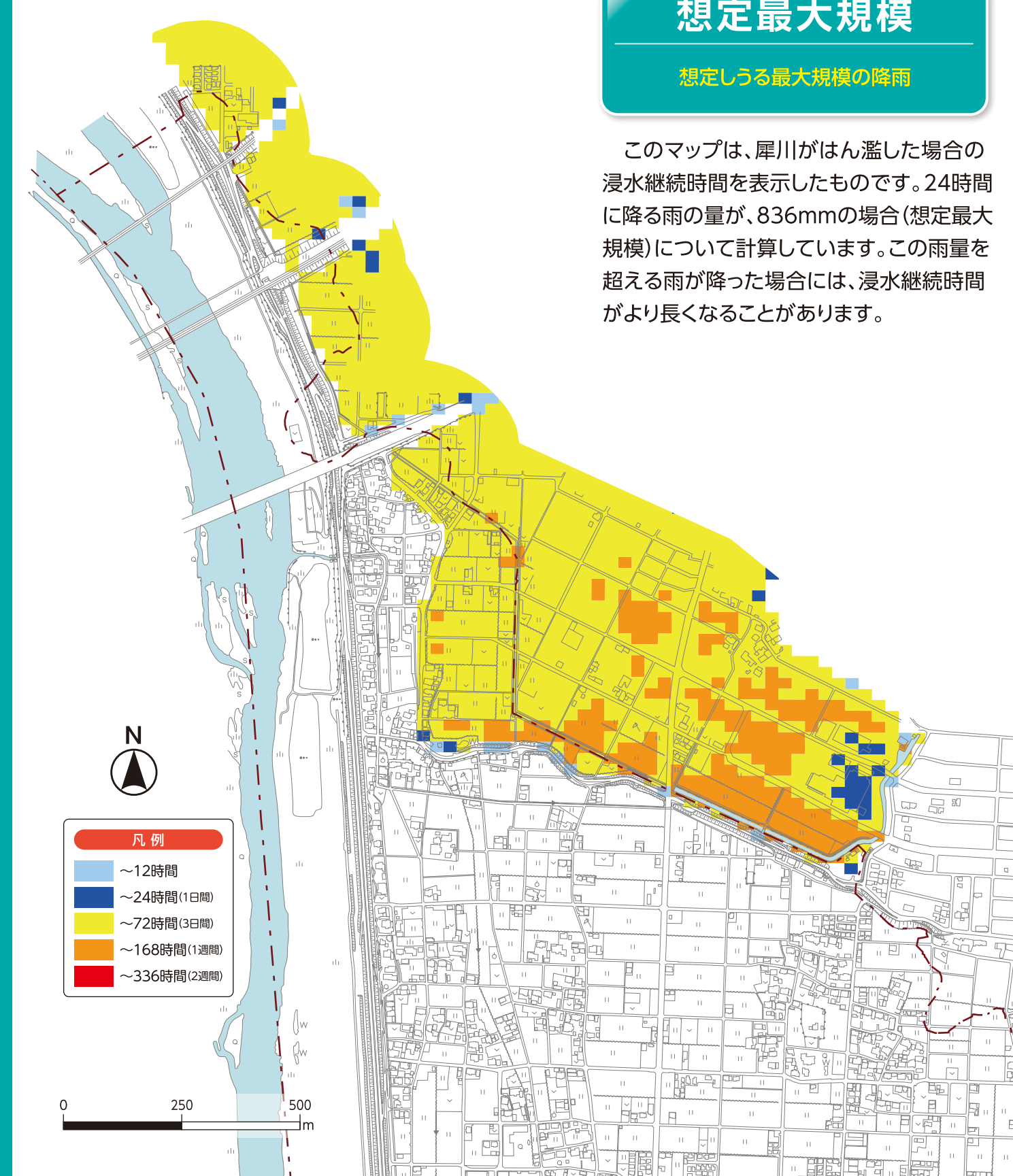
洪水浸水

時間

想定最大規模

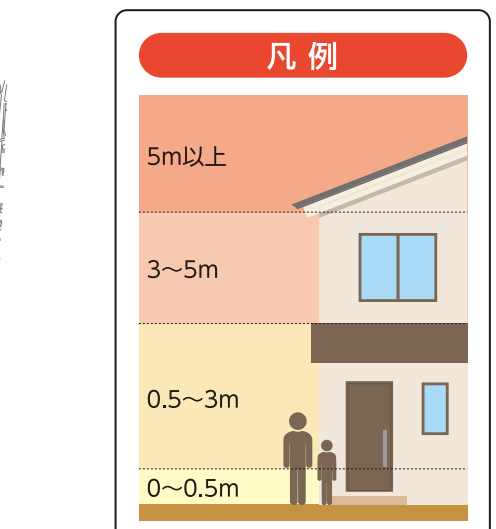
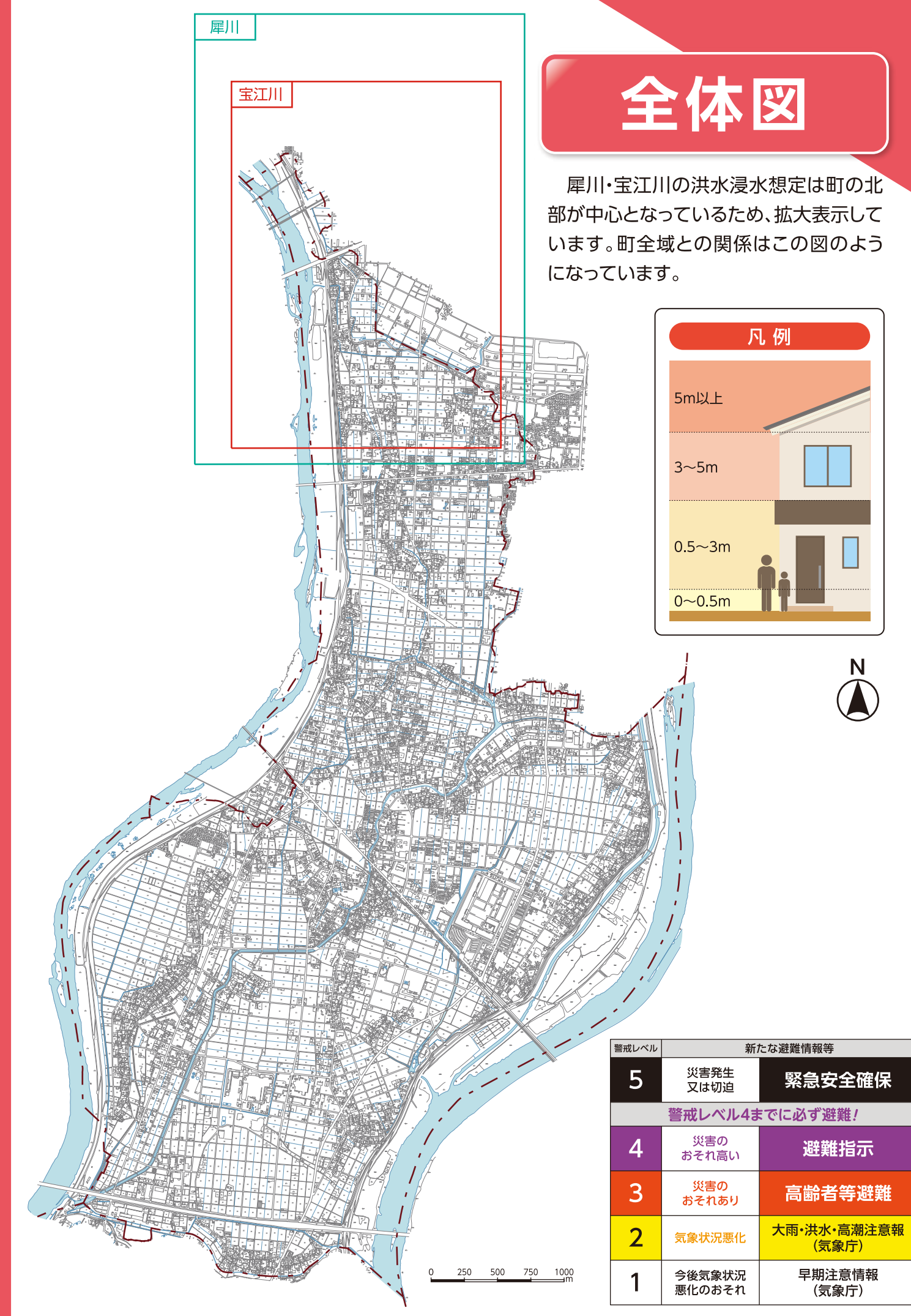
想定しうる最大規模の降雨

このマップは、犀川がはん濫した場合の浸水継続時間を表示したものです。24時間に降る雨の量が、836mmの場合(想定最大規模)について計算しています。この雨量を超える雨が降った場合には、浸水継続時間がより長くなる可能性があります。



全体図

犀川・宝江川の洪水浸水想定は町の北部が中心となっているため、拡大表示しています。町全域との関係はこの図のようになっています。



警戒レベル	新たな避難情報等	緊急安全確保
5	災害発生又は切迫	緊急安全確保
4	警戒レベル4までに必ず避難!	避難指示
3	災害のおそれあり	高齢者等避難
2	気象状況悪化	大雨・洪水・高潮注意報(気象庁)
1	今後気象状況悪化のおそれ	早期注意情報(気象庁)

宝江川

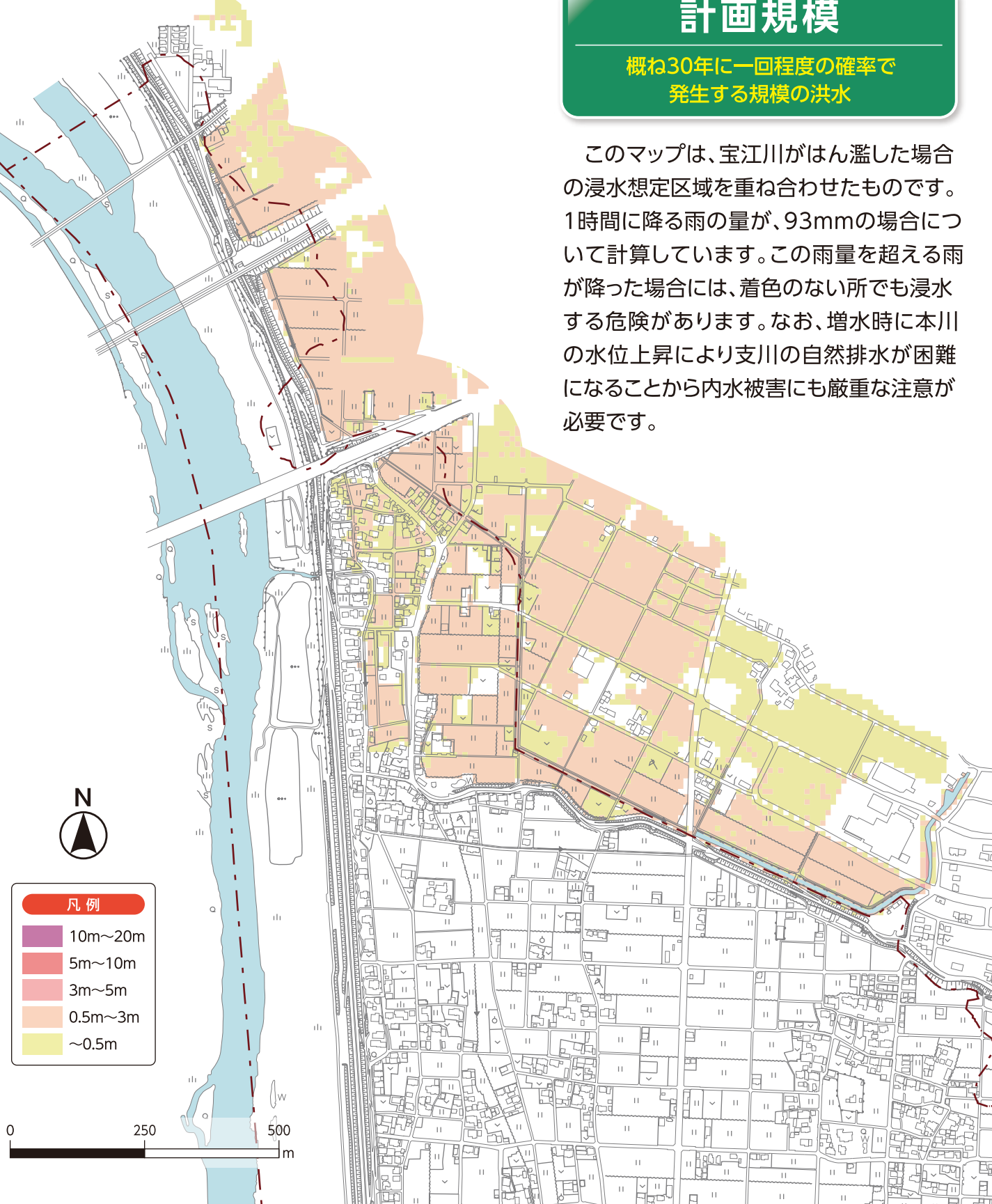
洪水浸水

想定区域図

計画規模

概ね30年に一回程度の確率で発生する規模の洪水

このマップは、宝江川がはん濫した場合の浸水想定区域を重ね合わせたものです。1時間に降る雨の量が、93mmの場合について計算しています。この雨量を超える雨が降った場合には、着色のない所で浸水する危険があります。なお、増水時に本川の水位上昇により支川の自然排水が困難になることから内水被害にも厳重な注意が必要です。



宝江川

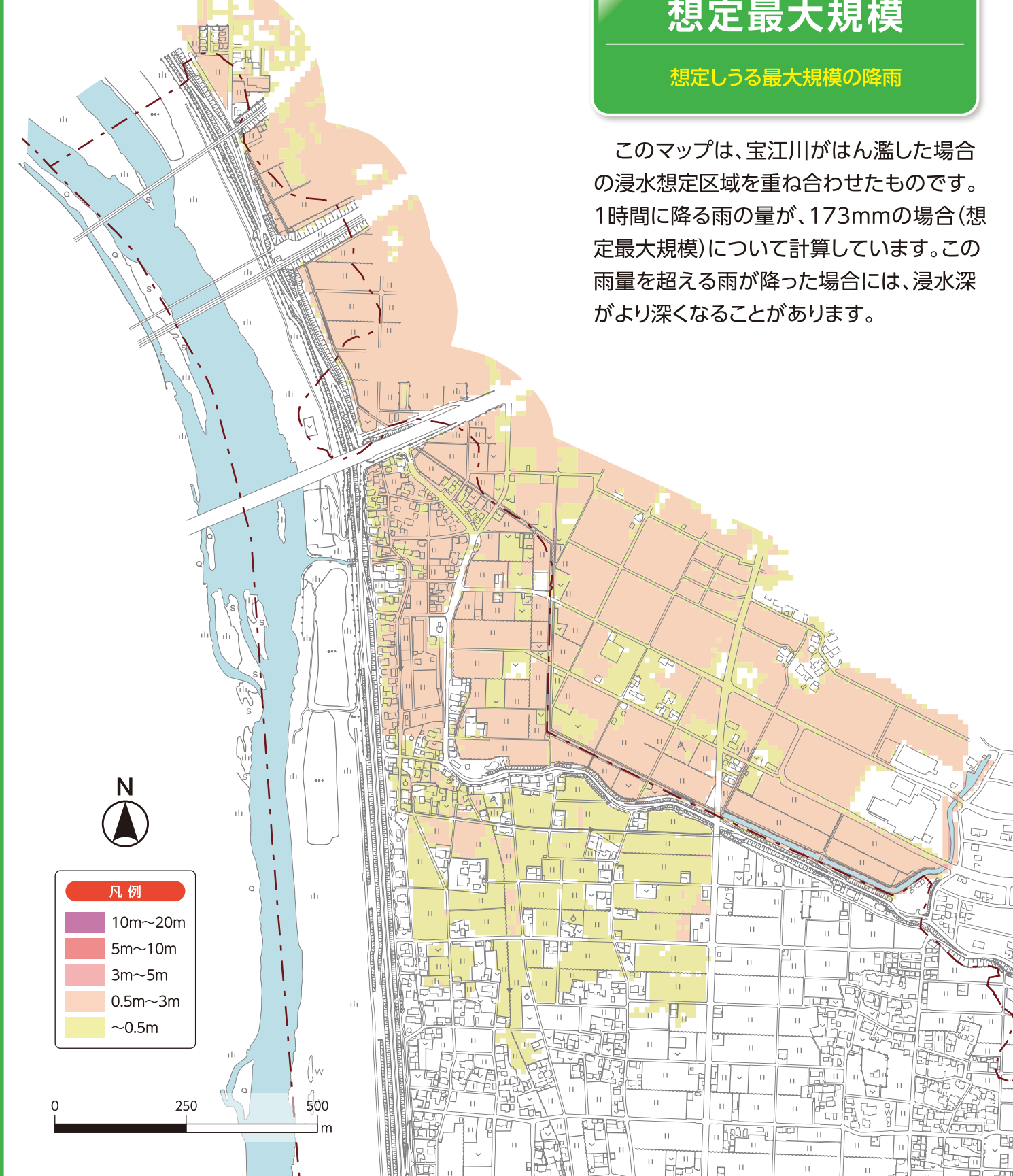
洪水浸水

想定区域図

想定最大規模

想定しうる最大規模の降雨

このマップは、宝江川がはん濫した場合の浸水想定区域を重ね合わせたものです。1時間に降る雨の量が、173mmの場合(想定最大規模)について計算しています。この雨量を超える雨が降った場合には、浸水深がより深くなる可能性があります。



避難時の心得・行動

早めの避難を心がけましょう

浸水が始まってからの避難は危険です。テレビやラジオ、河川水位などの情報をもとに、身の危険を感じたら市からの避難情報を待たずに自主的に避難を開始してください。

感染症対策

感染症の感染リスクがあっても、災害時には危険な場所にいる人は避難することが原則です。マスク・アルコール消毒液などを非常持出品に追加しておき避難先へ持参するようにしましょう。

要配慮者

乳幼児、高齢者、けが人など避難に時間のかかる人の安全を第一に考えて動きましょう。

広域避難

浸水に対して安全な避難場所と避難経路を平時から確認しておきましょう。車での避難は緊急自動車の通行を妨げるとともに、交通渋滞に巻き込まれる可能性もありますのでやめましょう。

垂直避難

避難が遅れ、すでに危険だと感じた場合は自宅の2階や近くの家などの少しでも高い場所に避難しましょう。

連絡方法

家族との連絡方法を事前に話し合っておきましょう。



必要なものにチェックして準備しておきましょう。

非常持出品・常備品

非常持出品リスト 避難するときに最初に持ち出すものの例です。

非常食品

- 飲料水
- アルファム
- 携行用バランス栄養食
- 機能的食品
- ※ビタミン・ミネラルなどの栄養が強化された食品
- その他()

救急・応急医療品

- ヘルメット
- 防災ずきん
- ホイッスル
- 小型ナイフ
- マスク
- 救急用品(傷薬、絆創膏、解熱剤など)
- アルコール消毒液

非常食品

- 飲料水(1人1日3L)
- 缶詰
- レトルト食品など
- 乾パンなど保存の効く食糧
- インスタント食品

燃料

- 卓上、携帯コンロ
- 予備のガスボンベ
- マッチ・ライター
- 乾電池
- 充電器(充電ができるもの)

その他

- キッチン用ラップ
- アルミホイル
- ごみ袋
- 裁縫セット
- 乳幼児用品
- 高齢者用品
- 常備薬
- 携帯・簡易トイレ
- 生理用品

常備品 災害復旧までの数日間(3日間~1週間程度)生活できるように準備しておくものです。